

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ライフライン株式会社

コード番号 7575 URL <http://www.ill.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 政次 浩二

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

TEL 03-6711-5200

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,880	10.1	347	400.9	386	656.9	194	41.3
25年3月期第1四半期	5,341	△6.5	69	△81.3	51	△86.4	137	△56.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 216百万円 (117.7%) 25年3月期第1四半期 99百万円 (△68.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	18.01	—
25年3月期第1四半期	12.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	27,777	15,359	55.3
25年3月期	27,110	15,412	56.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 15,359百万円 25年3月期 15,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,496	6.3	244	△2.3	245	△0.5	43	△79.9	4.06
通期	24,074	9.7	1,079	39.3	1,081	10.8	461	△11.2	42.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	11,302,497 株	25年3月期	11,302,497 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	500,541 株	25年3月期	500,541 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	10,801,956 株	25年3月期1Q	10,802,013 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	7
4. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(重要な後発事象)	12
5. 補足情報	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(売上高について)

当第1四半期連結累計期間の業績といたしましては、自社製品を扱うEP/アブレーションにおきまして、昨年発売した心腔内除細動システムが寄与したほか、外科関連におきましても、新たに参入した生体弁および胸部用ステントグラフトの市場において、当社商品の販売が好調に推移していることから、売上高は前年同期を上回りました。その一方で、リズムデバイスおよびインターベンションにおきましては、競合製品の影響などにより厳しい競争環境であったことから、前年同期に比べ売上高は減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は58億8千万円（前年同期比10.1%増）となりました。

品目別の販売状況は以下のとおりです。

<品目別売上高>

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	増減率
リズムデバイス	2,364	1,934	△18.2%
EP/アブレーション	1,315	1,969	49.7%
外科関連	589	1,036	75.9%
インターベンション	735	679	△7.6%
その他	337	260	△22.7%
合計	5,341	5,880	10.1%

※各品目区分に分類される主たる商品は以下のとおりです。

リズムデバイス	心臓ペースメーカー、ICD（植込み型除細動器）、CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカー）
EP/アブレーション	EP（電気生理用）カテーテル、アブレーションカテーテル、心腔内除細動カテーテル
外科関連	人工血管、ステントグラフト、人工心臓弁、人工弁輪、人工心肺関連商品
インターベンション	バルーンカテーテル、ガイドワイヤー、血管内異物除去用カテーテル
その他	血液浄化関連商品

(リズムデバイス)

リズムデバイスにおきましては、心臓ペースメーカー関連では、競合製品による影響を受けたことから、前年同期に比べ販売数量が減少いたしました。またICD（植込み型除細動器）関連におきましては、成長領域として位置付け取組みを強化しておりますものの、厳しい競争環境となっていることから、前年同期に比べ販売数量が減少いたしました。なお、ICD関連におきましては、リモートモニタリングシステムの下期の本格運用開始を目指し、同システムに対応したICDおよびCRT-Dの導入準備を進めております。

以上により、リズムデバイスの売上高は19億3千4百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

(EP/アブレーション)

EPカテーテルにおきましては、昨年10月より本格販売を開始した心腔内除細動システム「SHOCK AT (ショック・AT)」が伸びいたしました。本システムは当社のみが販売するオンリーワン製品であり、心房細動のアブレーション治療時に低侵襲かつ効率的に除細動を行うことができることから高い評価を得ており、市場への浸透が進んでおります。同製品の寄与によりEPカテーテルの売上高は、前年同期に比べ70.1%の増加となりました。

また、アブレーションカテーテルにおきましても、心房細動のアブレーション治療の症例数増加を背景として、前年同期に比べ販売数量は増加いたしました。

以上により、EP/アブレーションの売上高は19億6千9百万円（前年同期比49.7%増）となりました。

(外科関連)

人工弁関連におきましては、本年1月に発売した生体弁「Mitroflow (マイトロフロー)」が、優れた血行動態や狭小弁輪への植込み易さが高く評価され、堅調に推移したことから、人工弁関連の売上高は前年同期に比べ149.7%の増加となりました。

また人工血管関連におきましては、本年5月に発売した胸部用ステントグラフト「RELAY PLUS (リレイ・プラス)」の寄与により、前年同期に比べ62.2%増加いたしました。「RELAY PLUS」の持つ、屈曲した胸部大動脈への高い追従性や精確な留置を可能とする独自の構造といった特長を訴求することで、引き続きシェア拡大を目指してまいります。

以上により、外科関連の売上高は10億3千6百万円（前年同期比75.9%増）となりました。

(インターベンション)

インターベンションにおきましては、バルーンカテーテルでは「LIFESPEAR (ライフスピーア)」シリーズの拡販に努めましたものの、競争環境が厳しさを増していることから、販売数量は前年同期に比べ減少いたしました。

また、自社製品のガイドワイヤーにつきましては、冠動脈用製品の販売数量が前年同期を下回ったものの、下肢を対象とする末梢血管用製品においては、当第1四半期より一般症例用の「Paddler (パドラー)」および高度狭窄病変用の「GLAIVE (グレイブ)」の2製品を導入し拡販に努めた結果、販売数量が増加いたしました。

さらに、前期の下期から新たに販売を開始した冠動脈用ベアメタルステント「S-Stent (S・ステント)」につきましては、従来商品を販売していた前年同期を上回り推移しております。

以上により、インターベンションの売上高は6億7千9百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

(その他)

連結子会社において販売している血液浄化装置等のその他の売上高は、2億6千万円（前年同期比22.7%減）となりました。

(損益について)

①営業利益

新商品の販売が計画を上回るペースで進捗しているほか、採算性の高い自社製品の売上構成比の増加により、売上総利益が前年同期に比べ増加いたしました。また、広告宣伝費など一部の経費予算の執行が遅れていることから、当第1四半期連結累計期間におきましては、販売費及び一般管理費の支出が計

画を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における営業利益は3億4千7百万円（前年同期比400.9%増）となりました。

②経常利益

為替差益および受取利息等を営業外収益として6千2百万円、支払利息等を営業外費用として2千3百万円計上したことから、当第1四半期連結累計期間における経常利益は3億8千6百万円（前年同期比656.9%増）となりました。

③四半期純利益

前年同期に発生した特別利益の計上がなかったことから、当第1四半期連結累計期間における四半期純利益は1億9千4百万円（前年同期比41.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結貸借対照表に関する分析)

①資産

当第1四半期連結会計期間の資産につきましては、流動資産が前連結会計年度に比べ6億8千9百万円増加し、181億9百万円となりました。これは主として現金及び預金が2億4千9百万円減少した一方で、売上の伸長により売上債権が4億2千5百万円、また、新規商材の取扱開始によりたな卸資産が5億8千7百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度に比べ2千2百万円減少し、96億6千7百万円となりました。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度から6億6千7百万円増加し、277億7千7百万円となりました。

②負債

当第1四半期連結会計期間の負債につきましては、流動負債が前連結会計年度に比べ3億6千5百万円増加し、83億3百万円となりました。これは主として仕入債務が6億2百万円増加した一方で、計上期間の違いから、未払法人税等が2億7百万円、賞与引当金（未払賞与を含む）が2億2千2百万円減少したことによるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度に比べ3億5千5百万円増加し、41億1千4百万円となりました。これは主として長期借入金が3億4千2百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度から7億2千万円増加し、124億1千8百万円となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間の純資産につきましては、前連結会計年度に比べ5千3百万円減少し、153億5千9百万円となりました。これは主として剰余金の配当を2億7千万円実施したこと、及び、四半期純利益を1億9千4百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高が計画を上回り進捗する一方、販売費及び一般管理

費予算の執行の遅れにより、計画を上回る利益計上となりました。しかしながら第2四半期以降につきましては、主力であるリズムデバイスでは依然として厳しい市場環境が予想されることや、第1四半期に執行されなかった経費予算の執行が見込まれることから、現時点におきましては平成25年4月30日に開示した連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

連結子会社は、法人税等の算定に当たり、税金等調整前四半期純利益に見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,273,910	2,024,183
受取手形及び売掛金	6,375,239	6,800,523
有価証券	405,671	405,730
たな卸資産	7,348,079	7,935,290
繰延税金資産	314,802	219,110
その他	703,827	725,848
貸倒引当金	△1,403	△1,150
流動資産合計	17,420,128	18,109,536
固定資産		
有形固定資産	4,994,485	4,942,152
無形固定資産	30,949	30,012
投資その他の資産		
その他	4,671,987	4,703,124
貸倒引当金	△7,484	△7,484
投資その他の資産合計	4,664,502	4,695,639
固定資産合計	9,689,938	9,667,804
資産合計	27,110,066	27,777,340
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,427,751	2,030,131
短期借入金	4,170,000	4,170,000
1年内返済予定の長期借入金	294,500	359,500
未払金	793,528	775,775
未払法人税等	335,597	128,275
賞与引当金	31,645	318,057
その他	884,677	521,664
流動負債合計	7,937,700	8,303,405
固定負債		
長期借入金	1,092,500	1,434,500
長期未払金	434,454	434,454
退職給付引当金	1,464,714	1,492,935
役員退職慰労引当金	263,229	273,323
負ののれん	2,813	2,110
その他	501,860	477,463
固定負債合計	3,759,572	4,114,786
負債合計	11,697,272	12,418,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,241	2,115,241
資本剰余金	2,328,128	2,328,128
利益剰余金	11,246,615	11,171,075
自己株式	△351,527	△351,527
株主資本合計	15,338,457	15,262,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,335	96,231
その他の包括利益累計額合計	74,335	96,231
純資産合計	15,412,793	15,359,149
負債純資産合計	27,110,066	27,777,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,341,660	5,880,341
売上原価	2,656,015	2,848,977
売上総利益	2,685,644	3,031,363
販売費及び一般管理費	2,616,216	2,683,592
営業利益	69,427	347,770
営業外収益		
受取利息	1,827	3,820
受取配当金	638	1,523
為替差益	—	35,955
負ののれん償却額	703	703
その他	18,437	20,047
営業外収益合計	21,607	62,049
営業外費用		
支払利息	5,984	9,140
為替差損	29,578	—
支払補償費	—	10,000
その他	4,380	3,964
営業外費用合計	39,943	23,105
経常利益	51,091	386,715
特別利益		
薬事申請業務引継による受入金	222,990	—
特別利益合計	222,990	—
特別損失		
固定資産除却損	716	235
投資有価証券評価損	22,628	—
投資有価証券売却損	4,071	—
特別損失合計	27,416	235
税金等調整前四半期純利益	246,665	386,479
法人税、住民税及び事業税	14,793	116,440
法人税等調整額	94,228	75,530
法人税等合計	109,021	191,971
少数株主損益調整前四半期純利益	137,643	194,508
四半期純利益	137,643	194,508

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	137,643	194,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,241	21,895
その他の包括利益合計	△38,241	21,895
四半期包括利益	99,401	216,404
親会社株主に係る四半期包括利益	99,401	216,404

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、すべての拠点は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
	金額	金額
EP/アブレーションカテーテル類	597,778	746,368
外科関連	88,853	110,287
インターベンション	88,803	92,454
その他	142,082	160,937
合計	917,517	1,110,047

②受注状況

当社グループの事業形態は、原則として受注残高が発生しないため、記載を省略しております。

③販売状況

当第1四半期連結累計期間における販売実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
	金額	金額
リズムデバイス	2,364,443	1,934,787
EP/アブレーション	1,315,636	1,969,183
外科関連	589,032	1,036,137
インターベンション	735,241	679,327
その他	337,306	260,905
合計	5,341,660	5,880,341